

# ドラクダゴ



長尾和宏 (ながお・かずひろ) 医学博士。か東第兵二京医大卒業後、大阪大第二内科入局。1995年、兵庫県尼崎市で長尾クリニックを開業。外来診療まで「人を救う」を目的とする総合診療を目指す。近著「薬のやめどき」「痛くない死に方」はいずれもベストセラー。関西国際大学客員教授。

故・立川談志師匠も「あの芸にはかなわねえ」と降参したという落語界の重鎮・三遊亭円歌さんが4月23日、結腸がんによる腸閉塞のため東京都内の病院で亡くなりました。88歳でした。

## ⑥ 三遊亭円歌

落語協会の発表によれば、円歌さんは23日午前自宅に倒れ、妻が119番。救急車で緊急搬送され、病院で死亡が確認されました。

# 「看取る」家族の選択肢



結腸がんが進行して大きくなると腸の内腔を塞いでしまい腸閉塞を引き起こすことがあります。腹膜播種といって腹膜にまると種をばらまいたように

がんが転移・増殖し、癒着することで腸閉塞に至ることもありま

みが始まり、翌日病院に運ばれたときには、すでに意識がなかったとい

私も常時3000人の在宅患者さんの電話番号が、携帯電話に登録されており、24時間365日いつでも電話に出られる態勢

でいます。円歌さんが、がん終末期であったかどうかは報道からは読み取れないので、何とも言えませんが、一般に末期がんであるなら、緊急搬送の要請をせずに自宅

「山のあな、あな…」で知られた円歌さんですが、前職は国鉄職員。吃音を治したくて断家になろうと決意されました。落語で自らの吃音を治す—どんな名医にもできない素晴らしい治療法でした。

搬送途中に心肺が停止した場合、自動的に救命処置が開始されます。蘇生がかなわないケースや末期がんと分かりその処置を中止した場合、経過を知らない病院の医師が警察に通報することがあります。その時点から看取りの

「看取る」が開始される場合があります。その時点から看取りの開始される場合があります。その時点から看取りの開始される場合があります。